

ボカナ村における、これまでの成果と提案する事業概要

1. 2011年からの成果（ボカナ村）

植林本数：145,000本

生存率：80%

樹種：Bakhaw、Pagadpat、Bungalon

2009年の事前調査時の写真：

マングローブ林が消滅し、1本のマングローブもない。生態系が大きく変化したと考えられる。さらに沿岸部の家屋が高波に無防備になっている。



2015年の同方向の写真

植林したマングローブが成長し、すでに沿岸部の家屋が見えない。



2018年の衛星写真（Google Map）

植林されたマングローブ林を宇宙からも見ることができる。2018年ころの撮影と考えられる。マングローブ林だけでなく、植林サイト中央に観光用のブリッジとコテージまで見える。今後、植林する余地は20haと大きい。



赤枠は本事業の植林サイト

2. 提案する事業の概要

事業名：子供達と植えよう！マングローブの森づくり

カウンターパート（住民団体）名：Bocana Mangrove Lovers Asociation (BMLA)

代表：Ms. Jenny Sarmient Valencia メンバー数：35

実施期間：2024年1月1日～2024年12月31日

対象国：フィリピン

植林実施場所：西ネグロス州イログ郡ボカナ村（

植林面積：2.0ha

植林本数：20,000本

植林樹種：Pagadpat、Bungalon

植林ツアーの実施時期：2024年3月と2024年8月の2回を予定

3. ボカナ村の位置



4. 2030年までの全体計画

事業名：マングローブの森づくり 2030 とエコツーリズムによる住民団体の自立
 カウンターパート（住民団体）名：Bocana Mangrove Lovers Asociation (BMLA)
 実施期間：2025年1月1日～2030年1月31日
 対象国：フィリピン 植林実施場所：西ネグロス州イログ郡ボカナ村
 植林面積：18.0ha
 植林本数：180,000本 植林樹種：Pagadpat、Bungalowon
 植林サイト：赤線で囲ったエリア（かつてマングローブが繁茂していたエリア）

